

北中校区小中一貫の教育目標

夢をもち 心豊かに輝く 北斗の若星

名張市  
夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」  
【めざす子ども像】  
夢を実現する力・社会を拓く力を身につけた児童・生徒

中学校区でのコミュニティ・スクールを基盤とした、これまでの小中連携から一歩進んだ小中一貫教育を実施することにより、未来を担うための資質・能力を育成します。

- 【ねらい】
- 確かな学力の向上 体力の向上
  - 人間関係力の向上
  - いじめの防止と不登校問題の解消
  - ふるさとを愛する心の醸成
  - 英語力の向上

目指す児童生徒像

互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや自己有用感をもつことができる児童生徒

北中学校：夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成  
—感動・感謝—そして成長—

薦原小学校：持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

美旗小学校：みんな仲良く はつらつとした たのしい学校

すずらん台小学校：なりたい自分の実現に向け、人間性豊かに、人とのつながりを大切にする児童の育成 ～自分らしく、仲間とともに、かっこよく！～

すべては、子どもたちの笑顔のために

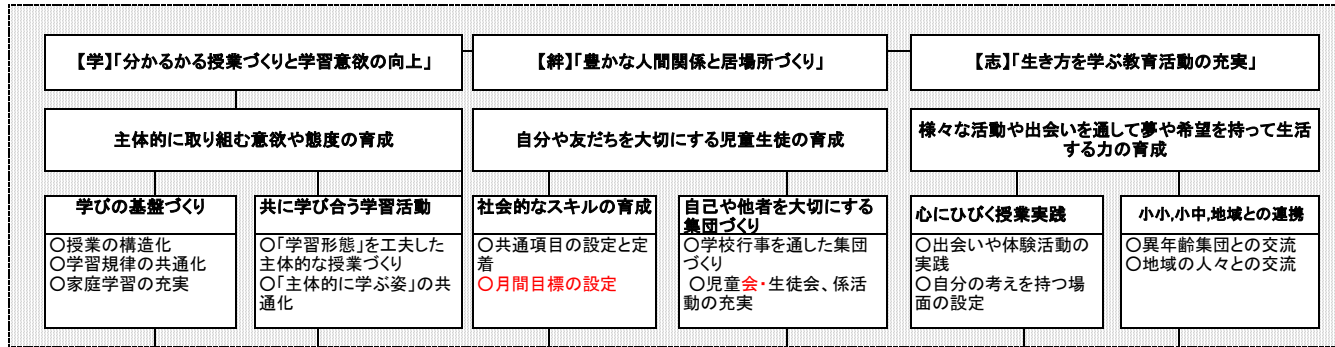
北中学校区  
小中一貫教育  
グランドデザイン  
〔令和2年度〕

基本理念  
未来を担う子どもの夢を実現するために、北中学校区小中学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合う。

小中一貫教育推進のための方法

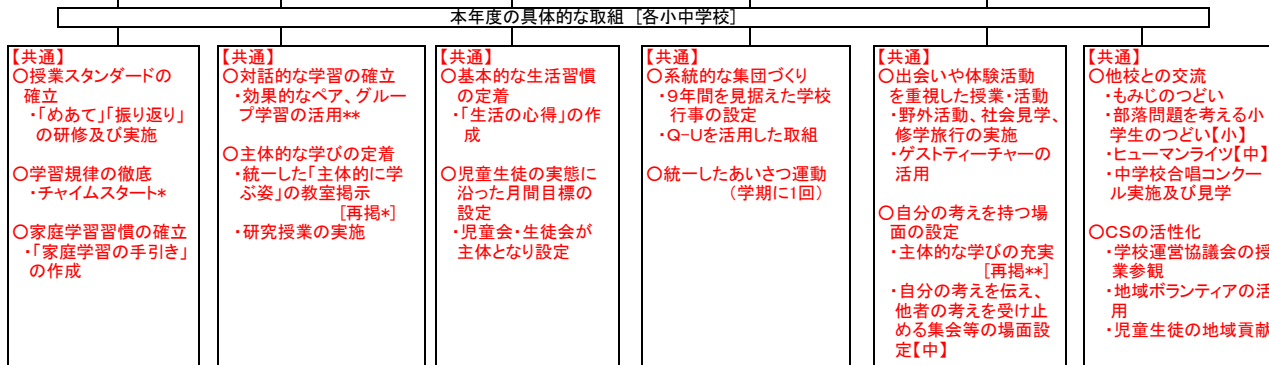
- ・管理職、担当者による小中一貫教育推進会議の開催
- ・小中一貫教育担当者による連絡調整
- ・年1回の全職員による合同研修会の実施（夏季休業中）
- ・各担当者会での北中ブロック内での情報交換・協議及び勤務校での還流
- ・キャリア教育小中一貫カリキュラムに基づく実践及び成果の検証
- ・ふるさと学習「なばり学」カリキュラムに基づく実践及び成果の検証
- ・人権教育カリキュラムの実践と検証
- ・小中一貫英語科教育カリキュラムに基づく実践及び成果の検証
- ・他校、異校種の授業や行事の参観（特に中3、小6）

- 各種委員会等
- ・校区校長会議
  - ・小中一貫推進委員会
  - ・教育研究推進委員会
  - ・学校人権・同和教育推進委員会
  - ・校区人権教育推進委員会
  - ・生徒指導推進委員会
  - ・保健体育代表者会
  - ・もみじのつどい実行委員会
  - ・特別支援教育コーディネーター連絡会
  - ・教育相談担当者会 等



目的  
小中一貫教育とは、小学校と中学校が子どもの実態を踏まえ、小学校6年間、中学校3年間という括りを取り払い、義務教育の一貫した系統性・連続性のある指導を行うものです。  
このことにより、児童生徒に直接かかわる教職員をはじめとする多様な主体がベクトルを合わせることによって、さらなる児童生徒の成長を促すものです。

基本方針  
教職員の超過勤務等による健康上の問題が危惧される中、新しい事業を増やすことよりも、多様な主体の協働により教育効果を上げることを目指す。  
そのためには、小中学校の教職員が中学校3年生の姿を実際に見て、課題を共有すること、明確な目標に向けてベクトルを合わせて取り組むことを大切にする。  
また、一つひとつの行事や授業等の「ねらい」を明らかにし、「めあて」に対しての「振り返り」をし、PDCAサイクルを回して



保護者、地域等との連携・協働【コミュニティ・スクール】

家庭：保護者(PTA)、学校運営協議会  
 地域：美旗まちづくり協議会 薦原地域づくり委員会 すずらん台まちづくり協議会等各団体  
 行政：教育委員会、福祉等

評価 取組の評価をどのようにして行うか

- 全国学力学習状況調査
- 児童生徒質問紙調査
- 体力・運能力調査
- 学級満足度調査
- 意識調査(旧 魅力アンケート等)